

短
信

技能五輪チャンピオン誕生 家具競技で木村亮三君が優勝

北海道立旭川高等技術専門学院

当学院では平成8年度から修業期間2年間とする科目の改編を行い、造形デザイン科では企業が求める高品質化に対応するカリキュラムを編成し、付加価値の高い木製品の製作者育成を目指しています。

造形デザイン科の訓練目標でもある木製品の製作技能・生産活動の実践力を養う観点と、技能検定制度のあり方や考え方から訓練の一教材として、平成9年度より技能五輪へ参加しています。

大会参加の有無については、上記のような目標と平成9年度から全国大会に7名が参加、うち6名が入賞し輝かしい成績を収めている先輩方々の活躍を学生に紹介し、希望者による地方大会参加を指導しています。

第38回技能五輪全国大会は、埼玉県与野市で開催された家具部門に全国から15名の選手が参加し、12時間に及ぶ製作技能で、木村君は1位を獲得し全国の頂点に立ちました。

地方大会参加から全国大会への出場と、学生が目



標と定め自覚をし、技能習得への意欲とクラスメートとの共感、また全国大会ではライバルとの熱い戦いと交流で貴重な体験であったと考えます。また、木村君には国際大会を通じ、同年代の代表として悔いのない練習と競技、地域の代表として新しい21世紀を担う将来の指導者として期待度も高いと考えます。

最後に、木村君の家族からの手紙に『息子の努力が目に見える形で報われました』とあり、また、全国大会後の木村君のレポートには『僕の20年の人生の中で一番努力した』とありました。これからの技能訓練を進める上で、当学院にとってこの一言が心強く自信につながります。

技能五輪家具部門第1位

造形デザイン科 木村 亮三



私は、神奈川県茅ヶ崎市出身で高校卒業まで県内で育ちました。中学生の頃から大学進学より「ものづくり職人」になりたいと思い、家具づくりの本場旭川の旭川高等技術専門学院造形デザイン科を選びました。

地方大会では成績はあまり優れず、課題が発表されてから猛練習をしました。国際大会は私の家具づくりの夢を実現する第一歩ですので、楽しみながら頑張ります。

夢は自分のアトリエを持ち、“あーこれが木村の家具だ”と、見た人がすぐにわかる家具を作りたいと思っています。